

参考資料- 7

8日9時～11時半

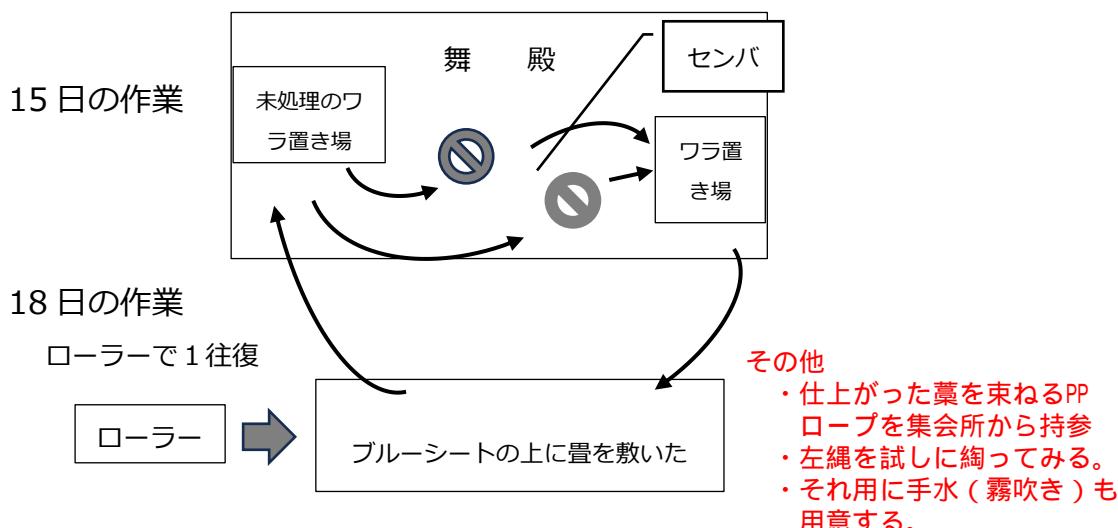
出席者：成清、中田（猛）、末國（富）末國（征）、末國（栄）、中田（真）、R6年9月8日打合せ
杉本、竹本、吉崎、坊田、松本

説明者：末國（栄）

令和6年秋季例大祭 注連縄作りの作業内容と分担

1. 注連縄用ワラのほぐし作業

総担当	末國栄之助		
日時	R6年9月15日（日）午前8時～		
場所	志賀神社 舞殿の前広場		
参加者	大坪常会（本当屋）全員 飲み物用意（担当： ）		
道具類	名 称	準備担当	備考
	ワラ運搬用軽トラ（2台）	成清、末國（富）	補助者：松本、木本
	千歯・センバ（2台）	末國（栄）	14日（土）16時に変更する。
	1トンローラー、ユニック車	坊田	
	タライ（2個）	末國（栄）	
	一輪車（2台）	末國（富） 1台	
作業順	<p>[15日の作業]</p> <p>①集合した後、 • 未國（栄）より作業内容を説明 • ブルーシート、センバを設置 ②ワラをセンバに掛け、タライで根元をそろえワラ置き場に</p> <p>[18日の作業] 雨で屋外作業を順延</p> <p>①ブルーシートを敷き舞殿の畳を8枚（2×4）敷く。 ②ワラをワラ置き場から運び、適量を畳の上に並べる。 ③ローラー掛け（往復1回） ④ワラを舞殿のブルーシート上の置き場に並べていく。 ⑤ ②～④を繰り返す。 ⑥終わったら、ワラをブルーシートで被い、作業後を清掃する。 ⑦ワラを保管していた駅組倉庫の掃除</p>		



2. 注連縄ない作業

総担当	末国栄之助		
日時	R6年9月22日(日)午前8時~		
場所	志賀神社 舞殿の前広場 成清 60本を集会所冷蔵庫で保管して持参する。		
参加者	中の村当屋 全員 飲み物用意(担当:当屋総代)		
お祓い	作業終了後に常会員 御供え(清酒2升、イリコ) 2合瓶で良い。		
準備物	注連縄(機械縄)150m、祓い殿注連縄(手縄)26m		
道具類	名 称	準備担当	備考
	毛切りハサミ、カマ	各自	
	押切り(2台)	水除、末国(富)	
	脚立(3m級、1脚)	坊田	
	巻尺(50m、5m各1)	末国(栄)	
	ロープ(大注連縄用)	坊田	
	PPロープ(1巻)		在庫の物を使う。
	荷札(30枚程度)、ゴミ袋、マジックペン 協力を確認した。	末国(栄)	
師匠	注連縄作り:貢 通総 房作り:末国征男		
作業順	1. 本当屋役員は7時半からブルーシート敷などの準備 2. 8時に当屋要員が集合した後、挨拶と作業の説明 3. 大注連縄は、舞殿で2組(1組6~7名)が師匠の指導下で作る。 4. 小注連縄は、舞殿前広場で場所別の長さに切り荷札を付ける。 (取付け場所、長さ、本数を記した荷札を必要数だけ用意) 5. 完成した注連縄の毛切り 6. 完成した注連縄を祓い殿にて保管する。 7. 全員でお祓いを受ける。		

4, 6, 7は大坪常会だけで実施することにした。

参考 1 : 注連縄の種類と本数

[大注連縄]

	設置場所		長さ	青竹切 (4 本)	鈴 (計 14 個)	御幣						
大注連縄	祓い殿	内部	3.5m(毛切り)	無	無	○						
	祓い殿	入口	6.0m(毛切り)	無	総 3 個	○						
	白鳥神社	入口	4.0m(毛切り)	4.0m	総 2 個	○						
	鳥居	門柱(石)	5.0m	5.0m	総 3 個	○						
	鳥居	木作	5.0m	5.0m	総 3 個	○						
	鳥居	祭礼原	5.5m	5.5m	総 3 個	○						
青竹は真竹を使って取り付けること												
5mm縄	鈴用 1 m左縄		$14 \times 3 = 42$ 本									
	端結び用		2 (両端) $\times 6$ 本分 = 12 本 計 54 本									
1 (片方だけ) 6 48												

[小注連縄]

場所	長さ	本数	青竹	場所	長さ	本数	青竹
祓い殿	26m	1		踏切前	5m	1	
神輿倉	8m	1		駅舎前	6m	1	
若宮社	6m	1		大船橋	3.5m	2	4
湯沸し場	8m	1	4	落合橋	3.5m	2	4
白鳥社	5m	1		金の御幣(集会所)	6m	2	2
舞殿前	8m	1		金の御幣(中)	6m		
杉の木	3.5m	2		神輿置き場	15m	1	4
杉の木間	5m	1		祭礼原出口	6m	1	2
ガヤの木	3.5m	2		御幣櫃	4m	1	
山伏墓	1.5m	1	2				
相撲取り墓	1.5m	1	2	計		24	24

参考 2 : 注連縄の取付け場所

志賀神社境内図に記載

参考 3 : 紙垂について

必要数はすべて宮司が作成し、幟立て時に併せて小注連縄に取り付ける。

紙垂の取付は、巻き取ると破れるので注連縄を張った後が望ましい。

連絡事項

1 中の村当屋寄りの出席者について

○神社総代：奥平正泰（志和池） 上里貴文（岡城） 橋川克宏（瀬谷）

○保存会：野崎浩昭（会長）、前川渉（事務局）

大倉弘成（六神儀頭領）、河野直樹（獅子舞頭領）

品川公治（神輿担頭領）

以上中の村氏子以外 8名出席

2 役割奉仕者について（8月27日現在）

○木舟常会長から連絡有り

・神前御料具運搬奉仕者：長岡憲治さん

○玉岡秀利さんから連絡有り

・〆胴担ぎ：玉岡秀利さん（木舟）（〆胴打ち奉仕者、渡邊陸斗君の〆胴担ぎ）

○長岡慎也さんから連絡有り

・楽打ち：長岡幸也さん→辞退 〆胴を打診したがダメ

（本人がクラブ活動を優先したい）

○駅組 多田信彦さんから連絡有り

・巫女の舞：森政結衣（ゆい）（多田信彦 孫）

3 参考

市場：8月27日の常会で決める

駅組：9月5日に常会を開いて決める

4 楽打ち奉仕者の募集 添付資料あり

志和池、岡城、瀬谷へ募集をかけようと思いつますので資料を作つてみました。

ご確認ください。

もし、これでよければ早いうちに地区総代へ配布したいと思います。